

西海区水産研究所より委託されたので海上調査を実施する。

- 1) 調査地 志布志
- 2) 調査対象魚 八田綱
- 3) 調査魚種 マイワシ、カタクナ、ウルメ、アジ類、ホシサバ、ゴマサバ、ブリ、スルメイカ、サンマ等

魚体調査

- 1) 調査日の抽出 — 各月を10日毎に区切り、各期間内で原則として最初の有魚日を抽出
- 2) 調査船の抽出 — 1調査日に2隻を抽出
- 3) 箱の抽出 — 1船より1箱又は2箱を抽出
- 4) 魚体の抽出及測定 — 上記抽出した箱からマイワシ100尾、その他の魚種50尾を抜き体長を測定し組成を求める。
尚上記体長を測定したマイワシ100尾その他の魚種50尾より25尾をランダムに抽出し精密測定を実施し水研え報告
- 5) 附帯調査 調査港における入港船の魚獲量、魚種別組成等の調査をじ水研え報告

いわし資源委託調査

西海区水産研究所の委託により海上調査を実施する。

- 1) 調査海区 乙海区
- 2) 調査期日 毎月下旬とばつているが当所は捕鯊船の運航上特に考慮して原き、6月、9月、12月、3月の年4回調査することばつている。
- 3) 産卵調査 各定条(18条)で①ネット(D径60cm)の垂直採集(50m→0m)及び表層5分間水平曳(12m/20)をし又0、25、50、100mの水溫を測る。
尚ネットで採集し判定する卵、稚仔はマイワシ、ウルメ、カタクナの卵稚仔とし、その結果を水研え研究
- 4) 魚群調査 定められた定条を魚群探知機により調査する。
記録紙に出た記録は魚群番号、魚群間隔、魚群長、魚群高、魚群深度を記載し各海区毎に魚群数を計算し水研え報告

削り節製造試験

近年月日 昭和30年4月21日～9月27日

目 立 節 19貫

産 節 27貫

自然乾燥目切 目 並 節 2貫800匁
 産 節 1貫700匁
 製 品 数 量 3 / 貫 810匁
 歩 留 0.76 強
 製 造 全 通

製造月日	原 料	数 量	製 品		歩 留	備 考
			上	7 ス		
4 21	目 並 節	3 貫	15 貫 800匁	400匁	0.97	
22	"	3 貫				
23	"	3 貫				
24	"	3 貫				
25	"	3 貫				
26	"	1 貫 200匁				
6 6	産 節	5 貫	10 貫 710匁	8 貫 340匁	0.56	
7	"	5 貫				
8	"	4 貫 0 匁				
9	"	5 貫				
6 20	産 節	1 貫 500匁	1 貫 150	350匁	0.76	
6 27	"	2 貫 500匁	2 貫 100	400匁	0.84	
9 27	"	2 貫 250匁	2 貫 050	200匁	0.90	
		4 貫 500匁	3 貫 810	9 貫 690匁	0.76	

所 感

1. 製品は良好であつた。販売については注文が多く其後も注文がある程であつた。
2. 鉋刃研ぎについて吾々桑人では丸研にし、本場を越える虞がある、そのためには研磨機が必要に思はれる。

塩 干 脂 焼 防 止 講 習 並 び 試 験

実 施 年 月 日 昭 和 30 年 5 月 28 日 ~ 6 月 5 日
 講 師 鹿 兒 島 水 産 指 導 所 白 石 技 師
 講 聴 者 職 員 及 関 係 業 者 10 名
 原 料 鱈 2 貫 940 匁
 製 造 工 程 全 通 / 日 目 (28 日)

始めにあじを背用にし、立塩、撒塩の二つに分け、それを更にリントンを使用したもの
 と使用しないものに分けた。

立塩リントンを使用せるもの I 875匁
 " 使用せぬもの II 875匁